

警察署協議会議事概要

協議会名	神奈川県海老名警察署協議会
日 時	令和5年5月12日（金）午後1時57分から午後4時30分までの間
場 所	神奈川県海老名警察署
出席者	<p>1 警察署協議会側 田口春代、海谷榮子、猪熊政喜、佐藤修一、飯塚由紀子、遠藤一義 計6人</p> <p>2 警察署側 署長 下山幸男、副署長 山川 満、警務課長 小澤可憲、会計課長 園部貴博、生活安全課長 小島章政、刑事課長 小口真也、地域課長 江幡宏之、交通課長 松下和則、警備課長 瀬戸伸也 計9人</p>
議事要旨	警察署協議会からの答申等に対する措置結果の説明
	<p>1 諮問 「自転車関連交通事故の対策について」</p> <p>2 答申 ・ ヘルメット装着の普及促進と効果的な交通安全教室の実施 ・ 交通ルールに違反している自転車に対する指導警告の強化</p> <p>3 措置結果 ・ 管内小中学校に対し、子どもへの交通安全指導の徹底を依頼するとともに、ヘルメット着用 of 普及促進に向けた連携を強化した。 ・ 3月中、管内の3つの高校を訪問し、生活指導担当教諭らにヘルメット着用の努力義務化について説明し、自転車通学者への指導を依頼した。また、従来実施していなかった高校における実車を使用した体験型の乗車方法教室の開催を計画中である。 ・ 管内の自転車販売店を訪問し、来店者に対するヘルメット着用 of 声掛けや安全利用の促進を図るチラシの配布を依頼し、協力を要請した。 ・ 高齢者雇用事業所において、高齢運転者に対し交通安全講習会を開催したほか、各地区の老人会で自転車シュミレーターを活用した講習を行っている。 ・ 通勤、通学の時間帯を中心に取締りを実施し、交通ルールに違反した自転車利用者に対し、多数の指導警告票を交付するとともに、ヘルメット着用が努力義務化されたことを周知する活動を行った。</p>
	諮問
	人材確保の推進と若手の育成方策について
	答申
<p>1 「採用活動の3本柱」の取組の推進</p> <p>2 幅広い広報啓発活動の実施</p> <p>3 取扱現場における機会教養の充実</p> <p>4 上司や先輩によるきめ細やかな指導教養の実施</p>	

業務説明

前四半期（1月から3月まで）の業務推進結果及び今四半期（4月から6月まで）の業務推進重点について説明を実施した。

協議会からの要望・意見等

- ・ 警察官は危険が伴う厳しい仕事というイメージで敬遠されがちであるため、インターンシップやリクルーター制度を活用して幅広い広報活動を行うほか、警察官の待遇改善や勤務の適正化を進めて、優秀な人材を確保してほしい。
- ・ 若手を育成するためには、ベテランによる指導教養も大切だが、若手がさらに未熟な若手を教えることで双方が成長し、結果として若手全体のレベルアップを図ることができるため、そのような組織づくりを検討してほしい。